

再編計画について

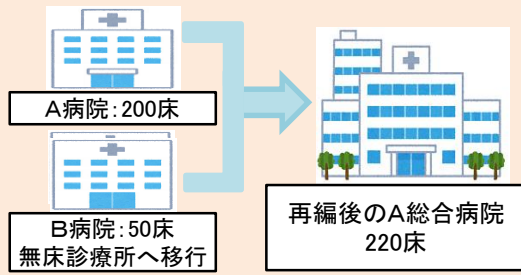
((仮称)所沢美原総合病院)

- ◆ 再編計画の認定について ……1
- ◆ 再編計画 ……………2
- ◆ 再編計画 別紙 ……………6

再編計画の認定について

1. 再編計画認定までのプロセス

再編を検討している複数医療機関



①再編計画を策定



③調整会議で協議し、合意

②地域医療構想調整会議に諮る

④地方厚生局へ再編計画を提出
(都道府県を經由)

地域医療構想調整会議（各都道府県）

・提出された再編計画について、地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携を推進するために適切に協議を行う。



・各都道府県は、地域医療構想調整会議において、再編計画の内容を確認するものとする。



⑤再編計画の認定

厚生労働省（地方厚生局長）

・提出された再編計画について、所定の要件を満たすものであるか確認を行い、適当であると認められる場合は認定を行う。

・再編計画の認定に当たっては、関係都道府県の意見を聴取する。

厚生労働省
地方厚生局



⑥再編計画を認定した旨を
都道府県へ通知

2. 再編計画について

＜再編計画に記載する事項＞

- ・再編の事業の対象とする医療機関に関する事項
- ・再編の事業の実施時期
- ・再編の事業の内容（再編前後の病床数及び病床機能等）
- ・再編事業を実施するために必要な資金、不動産に関する事項

＜地方厚生局長の認定を受けた際に受けることができる支援＞

- ・当該計画に基づき取得した不動産に対する税制優遇措置（登録免許税、不動産取得税）
- ・当該計画に基づく増改築資金、長期運転資金に関する金融優遇措置

再編計画

1. 医療機関の再編の事業の対象とする医療機関に関する事項

開設者及び設置主体	社会医療法人社団 埼玉巨樹の会						
施設名	所沢明生病院						
所在地	埼玉県所沢市山口5095番地						
構想区域名	西部保健医療圏						
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	一般病床及び療養病床				その他 (一般病床・療養病床以外)
		50	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
標榜診療科	内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/消化器外科/循環器外科/心臓血管外科/泌尿器科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科						
職員数	医師	歯科医師	看護師	准看護師	看護補助者	助産師	理学療法士
	10		121	7	18		14
	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学技士	管理栄養士
	7	3	8	13	11		3
病院建物建築年次	平成元年1月24日(現法人による開設:平成23年12月1日)						

開設者及び設置主体	社会医療法人社団 埼玉巨樹の会						
施設名	狭山中央病院						
所在地	狭山市富士見二丁目19番35号						
構想区域名	西部保健医療圏						
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	一般病床及び療養病床				その他 (一般病床・療養病床以外)
		111	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
標榜診療科	内科/外科/胃腸科/整形外科/脳神経外科/皮膚科/形成外科/ペインクリニック/リハビリテーション科/放射線科						
職員数	医師	歯科医師	看護師	准看護師	看護補助者	助産師	理学療法士
	5		73	11	29		27
	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学技士	管理栄養士
	6	4	4	7	9		2
病院建物建築年次	昭和59年4月7日(現法人による開設:令和元年6月1日)						

※ 表は医療機関数によって適宜追加すること

2. 医療機関の再編の事業の内容

(1) 再編事業の概要

再編後の医療機関が存する構想区域名	西部保健医療圏
再編事業を行う医療機関が当該構想区域で再編後に担う役割	がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療 ※詳細は別紙のとおり
その他	移転合併により、新病院として開設。令和4年度の病床整備計画の公募で承認された60床の整備は、新病院の開設に合わせて行う。

※ 行は必要に応じて適宜追加すること

※ 「再編事業を行う医療機関が当該構想区域で再編後に担う役割」については、再編事業を行う医療機関以外の医療機関との役割分担についても記載すること。

(2-1) 再編後の医療機関に関する事項

開設者及び設置主体	社会医療法人社団 埼玉巨樹の会						
施設名	仮称) 所沢美原総合病院						
再編後の所在地	埼玉県所沢市美原町二丁目2934番3						
病床機能別病床数	申請時の状況	総病床数	一般病床及び療養病床				その他 (一般病床・療養病床以外)
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
		221	24	197			
標榜診療科	内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/消化器外科/心血管外科/血管外科/泌尿器科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/皮膚科/婦人科/脊髄脊椎外科/病理診断科						
職員数	医師	歯科医師	看護師	准看護師	看護補助者	助産師	理学療法士
	30		245	15	45		40
	作業療法士	言語聴覚士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学技士	管理栄養士
	16	8	13	21	17	10	3

※ 表は医療機関数によって適宜追加すること

(2-2) 再編前後の対象医療機関の病床機能別病床数の合計

対象医療機関の病床機能別病床数の合計		総病床数	一般病床及び療養病床				その他 (一般病床・療養病床以外)
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
		再編前	161		161		
再編後	221	24	197				

※再編の事業を行う全ての医療機関の病床機能別病床数の合計を記入すること

3. 医療機関の再編の事業の実施時期

実施期間	2022年度 ～ 2023年度
計画年度	実施内容
2022年度	<ul style="list-style-type: none"> • R3. 7. 26 第1回西部地域保健医療・地域医療構想協議会 →定量基準分析結果について報告 • R4. 8～R4. 9 病院整備計画の受付 • R4. 8. 1 第1回西部地域医療構想調整会議 →病院整備計画の公募について 西部（328床） • R4. 11. 9 第2回西部地域医療構想調整会議 →協議：病院開病院整備計画の概要（60床申請） →協議：病院開設者の変更について（法人変更） • R5. 2. 10 埼玉県医療審議会 →承認：地域保健医療計画（第7次）の変更に基づく病院整備計画の公募について →承認：病院の開設者変更について
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> • R5. 8. 21 第2回西部地域医療構想調整会議 →協議：再編計画について • R5. 9～R5. 12 医療従事者確保 • R5. 10. 31 病院建物竣工 • R5. 11 使用許可申請（医療法） • R5. 12. 1 開設

※実施内容については、実施月を記載するなど実施時期が分かるように記入すること。

(別紙2)

4. 再編の事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

費用	調達先	資金の借入れ	自己資金	その他	合計	備考
所要額		■	■		■	

※ 内容を補足する資料を参考資料として適宜添付すること

5. 再編の事業の用に供するために取得する不動産に関する事項

(土地)

(単位：㎡)

	所在地番	地目	面積	その他	購入時期
1	所沢市美原町2丁目 2934番3・12	宅地	5431.01㎡		令和5年10月
2	所沢市美原町1丁目 2925番5	宅地	3967.00㎡		令和5年10月

※ 再編の事業の用に供するために土地を取得しない場合は、本項目は記入不要

※ 再編の事業の用に供するために土地を取得する場合は、土地の概要が分かる資料を添付すること

(建物)

(単位：㎡)

	所在家屋番号	種類・構造	床面積	その他	着工時期	竣工時期
1	所沢市美原町2丁目 2934番3	S造・耐震	12,238.49㎡		令和4年6月	令和5年10月
2						
3						

※ 再編の事業の用に供するために病棟等を建築（増改築を含む）しない場合は、本項目は記入不要

※ 再編の事業の用に供するために病棟等を建築（増改築を含む）する場合は、図面、設計書等、工事の概要が分かる資料を添付すること

別紙 再編計画

●所沢明生病院・狭山中央病院の再編移転について

埼玉県二次保健医療圏、西部保健医療圏に属する所沢明生病院は、一般病床 50 床にて救急告示・労災指定を受け、16 の診療科を標榜し、積極的に急性期疾患、救急医療へ対応すべく入院・外来診療を行っております。所沢明生病院の設立は平成元年で建物は竣工から 32 年が経過しております。改修は診療を長期間休止しなければ実現できず費用面でも膨大な金額となります。また、現在の土地で建て替えた場合も長期間の診療休止は避けられず、隣接した土地が市営公園と共同住宅である事から拡張性を持たせた建築は不可能な状況です。その為、新築移転も含めた建築計画を平成 27 年より開始し平成 30 年 4 月に所沢市美原町の土地を購入しておりました。

同じく、埼玉県二次保健医療圏、西部保健医療圏に属する狭山中央病院は、一般病床 111 床、療養病床 26 床の合計 111 床の病院です。令和元年 6 月 1 日より一般社団法人巨樹の会に運営が変わっております。

狭山中央病院の設立は昭和 59 年で、建物は竣工から 35 年が経過しております。移譲前に想定しておりました維持管理費が想像以上にかかっており、病院運営を維持していく事が困難な状況となっております。また、病院の立地は四方が住宅に囲まれており、隣接する道路幅が 4.2 メートルであることから車の相互通行にも支障をきたす状況であり 1 分 1 秒を争う救急患者搬送時には救急車をスムーズに受け入れる事が出来ず、立ち往生してしまう場合があります。更に、建物内の廊下幅や病室の広さは現在の入院基本料等の施設基準を満たしておらず、過去の施設基準での届出となっております。新たな届出を行う場合は現行の基準を満たす事が出来ず、診療体制の向上は不可能な状況です。

このことから、患者様へ不利益とならないよう現在の診療体制を維持しつつ、更なる充実を目的として所沢明生病院、狭山中央病院の再編移転を計画いたしました。移転先の土地は一般社団法人巨樹の会が予めより取得しておりました所沢市美原町の土地です。所沢明生病院からは直線で約 4 km、狭山中央病院から直線で約 6 kmに位置します。移転後の病院運営は現在の診療を維持する事はもとより、保健医療圏圏外からの救急車受入も強化していき、より重症度の高い患者受け入れを行います。また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を踏まえ、今後の感染症流行に備えた陰圧病室の確保や外来診療スペースのゾーニング等、感染患者の隔離が可能な病院設計を進めております。

所沢明生病院 診療実績（令和4年4月～令和5年3月）

- ・外来患者数 139.6名/日（内科10.6名/神経内科1.3名/循環器11.5名/心臓血管外科7.7名/
呼吸器内科2.0名/外科35.1名/救急科15.6名/呼吸器外科2.9名/
整形外科37.4名/形成外科1.1名/脳神経外科4.9名/泌尿器科3.9名/
/リハビリ5.5名）
- ・入院患者数 45.9名/日
- ・病床利用率 91.9%
- ・平均在院日数 9.7日
- ・救急受入件数 3,862件/年 入院率31.8%
保健医療県外からの救急受け入れ依頼数 240件（受け入れ151件/断り89件）
重症度別救急受け入れ依頼件数 軽症2,227件/中等症1,479件/重症156件
重症度別救急断り件数 軽症437件/中等症454件/重症73件
- ・手術件数 1,171件/年（外科547件/呼吸器外科27件/整形外科203件/
心臓血管外科235件/脊髄脊椎外科126件/形成外科33件）

狭山中央病院 診療実績（令和4年4月～令和5年3月）

- ・外来患者数 72.2名/日（内科32.2名/外科27.4名/整形外科25.9名/形成外科8.2名/
皮膚科11.8名/神経内科4.3名/脳神経外科10.5名）
- ・入院患者数 94.2名/日
- ・病床利用率 84.9%
- ・平均在院日数 20.8日
- ・救急受入件数 1,287件/年 入院率47.0%
保健医療県外からの救急受け入れ依頼数 2件（受け入れ2件/断り0件）
重症度別救急受け入れ依頼件数 軽症655件/中等症540件/重症92件
重症度別救急断り件数 軽症949件/中等症513件/重症55件
- ・手術件数 255件/年（外科66件/整形外科151件/形成外科38件）

●開設等の目的、整備方針、必要性

○地域医療を支えていくために自院が圏域で果たす役割、機能

所沢明生病院・狭山中央病院2病院での救急受け入れ件数は、2021年度実績で4,201件、手術件数は2,472件（時間外休日手術361件）であり、非常に多くの二次レベル以上の救急患者を受け入れる体制を整えています。医療提供レベルは、救急患者のたらい回しをしない「断らない救急医療」を基本に、手術・検査等の高度医療の提供を行い、4大疾病（がん、心血管疾患、脳卒中、糖尿病）を中心に地域住民の方々にとって必須の医療を提供しております。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み（増床の必要性）

2021年度は所沢明生病院での1病床あたりの入院患者数は38.5名と全国TOPクラスの病床回転率であり、平均在院日数は10日以内で病床を稼働させたにも関わらず、救急車受け入れにあたり、年間の救急受入不可理由の内、約46%が満床を理由に受け入れを制限せざるを得ない状態でした。また、それら受け入れ不能であった患者のうち、約73%が中等症以上であり、重症例・死亡例を合わせると34例もの救急患者を、受け入れられませんでした。地域からの紹介患者、一般患者についても同様の状況が散見されます。今後、心臓血管外科、循環器内科、脳外科、脳血管外科などの医師を充足させ緊急対応含め、幅広い高度急性期診療が行える体制とします。

*埼玉西部消防局救急課報告資料より引用

○新たに整備する病床が担う予定の病床機能、医療機能と地域医療構想における当該二次保健医療圏の病床の機能区分ごとの将来の病床の必要量との関係性

令和2年度第2回地域医療構想調整会議でご協議頂いたように、令和5年10月に所沢明生病院（50床）と狭山中央病院（111床）は合併し、所沢市美原町の地において161床の新病院を開設します。新病院は、ハイブリッド室・da Vinciを含む7室の手術室・血管造影室を整備し、これまで両病院で対応不十分であった、心血管疾患、脳卒中疾患、がん疾患等の高度急性期医療の分野も診療できるような体制にします。また新型コロナウイルス感染症などの新興・再興感染症対策としてもECMOおよび陰圧室を整備します。

令和3年度第1回地域医療構想調整会議で示された令和元年度病床機能報告結果について（2025年必要病床数との比較等）によりますと、定量基準分析（埼玉方式）と2025年必要病床数を比較した場合、西部保健医療圏においては高度急性期173床、急性期168床不足とあります。そこで、将来的な医療ニーズに対応すべく新病院において60床の増床を希望します。60床の内訳は、高度急性期24床（ICU8床、HCU16床（陰圧室7床・透析室5床含む））と急性期36床（感染症拡大時対応可能な一般病床）です。これまで同様に断らない救急医療を実践し、救命・治療後は各病床機能病院、診療所・クリニック、在宅医療まで多岐にわたる医療連携を図り地域医療支援病院を目指します。

地域医療支援病院を目指すにあたってスケジュール予定

【紹介率・逆紹介率】

ア 紹介率が80%以上

イ 紹介率が65%以上であり、かつ、逆紹介率が40%以上

ウ 紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上

令和4年度の実績は所沢明生病院、狭山中央病院ともに紹介率は55%、逆紹介率は20%台です。新病院移転後には、近隣の医療機関（かかりつけ医）との密なる連携を図り、逆紹介の推進を行い、紹介率50%以上かつ、逆紹介率70%以上を目指します。

【建物、設備、機器等を地域の医師等が利用できる体制の確保（共同利用）】

新病院移転後は、CT2台（320列、64列）、MRI 1.5テスラ2台を整備し、患者及び近隣の先生方からの検査依頼にも速やかに受け入れる体制とします。更には、ダ・ヴィンチ（手術支援ロボット）、リニアック、ハイブリット手術室も新規導入します。また、近隣の先生方との症例検討会やカンファレンス等にも使用して頂けるよう、会議室も設置し、最新の設備と医療機器及び建物を開放することで地域医療の向上に努めます。

【地域医療従事者への研修実施】

所沢市医師会の先生方を中心に、救急隊及び地域の医療従事者を対象とした研修会、講演会等を年間12回以上計画し、地域の医療従事者の方々と共に医療の質の向上にも貢献します。これまでと同様に断らない救急医療を実践し、救命・治療後は各病床機能病院、診療所・クリニック、在宅医療まで多岐にわたる医療連携を図り地域医療支援病院を目指します。

○当該医療機能を担う上での、雇用計画や設備整備計画の妥当性

新病院の計画は、将来の医療情勢や病床整備計画を鑑みて、当初よりゆとりある建築・設計にしております。従って新たな費用等は発生することなく開設、運営する事が可能です。また、医師・看護師をはじめとする医療従事者の確保についても、既に関連病院、関連学校から人材を確保し、関連病院での研修・教育により新病院開院時の人的体制を整備していることから、計画は確実に実現してまいります。合併移転と増床計画により総病床数を増やすことで、将来的に地域医療を担う上での救急体制、病診連携体制を強化し、所沢市を中心に西部医療圏全体の救急医療、地域医療の発展に貢献させていただきます。

●令和4年度病院整備計画の公募により承認された60床の病床根拠

○高度急性期：24床（内訳：ICU8床、HCU16床）

《ICU：8床の根拠》

延べ患者数・・・2,628名/年

(A:脳血管疾患694名,B:心血管疾患1,324名,*:その他の疾患610名)

平均在院日数・・・5.0日

新規入院患者数・・・528名/年

(A:脳血管疾患138,B:心血管疾患240,*:その他の疾患164)

必要病床数の根拠 $528(\text{年間対象患者数}) \times 5.0(\text{平均在院日数}) \div 365(\text{日}) = 7.23(\text{名}) \approx 8\text{床}$

《HCU16床の根拠》

延べ患者数・・・5,256名/年

(A:脳血管疾患1,071名,B:心血管疾患2,933名,*:その他の疾患1,252名)

平均在院日数・・・4.1日

新規入院患者数・・・1,356名/年

(A:脳血管疾患233,B:心血管疾患752,*:その他の疾患403)

必要病床数の根拠

$1,356(\text{年間対象患者数}) \times 4.1(\text{平均在院日数}) \div 365(\text{日}) = 15.23(\text{名}) \approx 16\text{床}$

〈A：脳卒中医療〉

第7次埼玉県地域医療構想によれば、2025年時点での脳卒中医療の医療需要について、2013年と比較し、約38%程度の需要増が見込まれています。また、SCRによる圏域の病名（分類番号：010070）出現率は、他地域と比較して2019年度より入院症例において多く出現しており、2018年度と2020年度を比較すると約1.5倍の出現率となっています。

脳神経外科医3名を確保し、開頭手術、血管内治療、血栓溶解療法（t-PA）を中心に、超急性期患者の対応を中心に行います。

また、廃用症候群や合併症予防を目的とした早期離床リハビリテーションを実施し、地域の回復期リハビリテーション病院との連携を図ります。

〈B：心血管疾患医療〉

第7次埼玉県地域医療構想によれば、2025年時点での心血管疾患医療の医療需要について、2013年と比較し、約43%程度の需要増が見込まれています。また、SCRによる圏域の病名（分類番号：050050）出現率は、他地域と比較して入院症例において多く出現しており、2018年度と2020年度を比較すると約1.6倍の出現率となっています。

心臓血管外科・循環器内科6名を確保しており、虚血性心疾患、弁膜症、胸腹部大血管疾患等に対する内科的治療として冠動脈インターベンション（PCI）治療、外科的治療として開胸・開腹手術等が実施出来る体制を整備し、救命のための心血管疾患に積極的に取り組みます。

また早期より心大血管疾患リハビリテーション実施を実施するために、人材、設備を充実させております。

○急性期：36床

《急性期36床の根拠》

延べ患者数・・・12,978名/年

平均在院日数・・・10.5日

新規入院患者数・・・103名/月 1,236名/年

必要病床数の根拠 $1,236(\text{年間対象患者数}) \times 10.5(\text{平均在院日数}) \div 365(\text{日}) = 35.6(\text{名}) \approx 36\text{床}$

〈C：がん医療〉

第7次埼玉県地域医療構想によれば、2025年時点でのがん医療の医療需要について、2013年と比較し、約21%程度の需要増が見込まれています。また、SCRによる圏域の病名出現率は、「大腸がん」「乳がん」「胃がん」の順に出現率が上昇しており、いずれも入院から外来診療までを含む患者が増加している傾向です。

これまでに実績のある消化器外科のがん手術に加え、肝胆膵外科、泌尿器科、婦人科、病理診断科の医師を確保しており、多様ながんへの診断、治療に対応します。また、da Vinciをはじめとした高度医療機器を活用し、患者に負荷の少ない低侵襲の手術を積極的に実施し、患者の早期社会復帰支援に努めます。

また、通院においても外来診療にて化学療法が受けられるように整備しており、フェーズに合わせた最適ながん治療を提供できる体制を確保しています。

〈D：救急医療〉

所沢明生病院・狭山中央病院両院での圏域救急受け入れ件数は、2021年度実績で4,201件、手術件数は2,472件であり、非常に多くの二次レベル以上の救急患者を受け入れる体制を整えています。

2021年度は救急入院率が約31%であり、中等症以上の入院症例において入院病床の満床を理由に収容できなかった患者を受け入れた想定での救急入院率は約40%でした。

24時間365日「断らない救急医療」を今後も継続して提供する体制を確保してまいります。

【参考】

〈新病院救急受入想定数〉※2021年度収容依頼件数を基に算出

救急受入件数7,200件/年（月平均600件）

救急入院率約40%

救急入院患者数2,880/年（月平均240名）

〈E：誤嚥性肺炎等の高齢者疾患（認知症を含む）〉

第7次埼玉県地域医療構想によれば、2025年時点での肺炎の医療需要について、2013年と比較し、約62%程度の需要増が見込まれています。また、SCRによる圏域の病名（分類番号：040081）出現率は、2018年度より顕著に上昇しており、2020年度と比較すると、入院が必要な症例が約1.8倍の出現率となっています。

また、高齢者疾患については認知症ケアも重要な課題であり、両病院ともに現在からマニュアルの整備、スクリーニングの徹底など、力を入れて取り組んでいます。

〈F：大腿骨骨折〉

第7次埼玉県地域医療構想によれば、2025年時点での大腿骨頸部骨折の医療需要について、2013年と比較し、約81%程度の需要増が見込まれています。

所沢明生病院では、骨折後の早期手術をすでに実施しており、大腿骨骨折やその原疾患となり得る「骨粗鬆症」治療にも精力的に取り組んでいます。具体的には、診療報酬上の評価がされる5年以上前より、多職種によるチーム医療として骨粗鬆症リエゾンサービス委員会を立ち上げ、患者、職員、地域などへの啓蒙活動や、治療継続のための取り組みを実施しています。

〈G：新興感染症〉

新型コロナウイルス感染症専用病床整備実績

所沢明生病院 20床・狭山中央病院 8床

【所沢明生病院実績】

新規入院患者数・・・218名/年（うち重症9名、中等症140名、軽症69名）

延べ患者数・・・1,256名/年

積算根拠(2021年度実績及び2019年度実績の一部)

※2019年度実績については新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない実績として採用

- 1) 関連病院実績：福岡和白病院、新久喜総合病院(疾患構成比・平均在院日数・患者数)
- 2) SCR (standardized claim-data ratio)
(内閣府 HP：<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/mieruka/tiikisa.html> より引用)
- 3) NDB オープンデータ
(厚生労働省 HP：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html> より引用)
- 4) 病床機能報告（埼玉方式定量基準分析を含む）
(埼玉県 HP：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/byoshokinou.html> より引用)
- 5) 埼玉西部消防局救急傷病者収容状況
- 6) 第7次埼玉県地域医療構想

●患者受け入れ見込み

【増床前】	【増床後】
<p>○紹介元</p> <p>〈病院〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防衛医科大学校病院（136名） ・ 埼玉石心会病院（114名） ・ 入間ハート病院（68名） ・ 明生リハビリテーション病院（56名） 等 <p>〈診療所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおはし整形外科（13名） ・ かないクリニック（5名） ・ 宮本町内科クリニック（5名） 等 <p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設みかじま（4名） 等 	<p>○紹介元</p> <p>〈病院〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防衛医科大学校病院（270名） ・ 埼玉医科大学病院（10名） ・ 自治医科大学附属病院（10名） ・ 獨協医科大学埼玉医療センター（10名） ・ 埼玉県立がんセンター（10名） ・ 埼玉石心会病院（230名） ・ 入間ハート病院（140名） ・ 明生リハビリテーション病院（110名） 等 <p>〈診療所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおはし整形外科（20名） ・ かないクリニック（10名） ・ 宮本町内科クリニック（10名） 等 <p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設みかじま（10名） 等
<p>○紹介先</p> <p>〈病院〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明生リハビリテーション病院（268名） ・ 並木病院（88名） ・ 防衛医科大学校病院（53名） 等 <p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設みかじま（12名） ・ ベストライフ（12名） ・ エクラシア（22名） 等 	<p>○紹介先</p> <p>〈病院〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明生リハビリテーション病院（550名） ・ 並木病院（180名） ・ 防衛医科大学校病院（110名） ・ 埼玉医科大学病院（10名） ・ 自治医科大学附属病院（10名） ・ 獨協医科大学埼玉医療センター（10名） ・ 埼玉県立がんセンター（10名） 等 <p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護老人保健施設みかじま（30名） ・ ベストライフ（30名） ・ エクラシア（40名） 等

●連携実績

【2021年度所沢明生病院、狭山中央病院紹介先実績】 総退院患者数：2,016名

《急性期》 患者延べ人数：336名、連携施設数：57

〈主な連携先〉

- ・防衛医科大学校病院・・・53件
- ・埼玉医科大学病院(系列)・・・20件
- ・並木病院・・・27件
- ・埼玉心会病院・・・20件

《回復期》 患者延べ人数：336名、連携施設数：22

〈主な連携先〉

- ・明生リハビリテーション病院・・・268件
- ・所沢ロイヤル病院・・・21件

《慢性期》（療養・精神療養・認知症ケア病棟等）患者延べ人数：189名、連携施設数：47

〈主な連携先〉

- ・所沢ロイヤル病院・・・13件
- ・東所沢病院・・・10件

《地域包括ケア》 患者延べ人数：53名、連携施設数：11

〈主な連携先〉

- ・並木病院・・・23件
- ・大生病院・・・11件

《高齢者施設等》（介護老人保健施設・特別養護老人ホーム）患者延べ人数：471名、連携施設数：88

●確保状況・確保策、確保スケジュール

医師について、30名の人員確保を行う予定であり、招聘活動を行う専門職員を配置し、関連病院には医師が約500名在籍しており、脳神経外科、外科、心臓血管外科、循環器内科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、病理診断科、合計26名の医師を既に確保しております。また、継続して新規採用にも努めております。看護師においても、当初確保予定であった245名はすでに確保しており、2024年度の新卒採用者10名も採用予定としております。その他、医療技術部及び事務部職員においては充足しております。移転開設にあたり医師・看護師のほか医療スタッフの確保は万全を期している状態です